

カシオ計算機、訪問先からデータ送受信できるハンディ発売

Edited By LogisticsToday On 2011/12/08



訪問先からデータを送受信できるハンディターミナル

カシオ計算機は8日、携帯電話回線のデータ通信（HSDPA）に対応したW-CDMAモジュールと、NFCリーダ・ライタ（RFIDタグ・非接触ICカード対応）を搭載したプリンター一体型ハンディターミナル「IT-9000-W05J/G05J」を、2012年2月に発売すると発表した。

IT-9000-W05J/G05Jは、電気・ガス・水道などの巡回検針といった、訪問先が多岐にわたる保守メンテナンス業など、オフィスから離れた現場での業務に適しており、業務に必要なデータをW-CDMA回線を介して参照でき、プリンターで検針票や点検票などを発行できる。

NFCリーダ・ライタで読み取ったRFIDタグなどの情報や、GPSによる位置情報も現場から送信でき、盗難や紛失時には、管理部門からW-CDMA回線を介してハンディターミナル内のデータを消去できる。

タッチパネル付の3.7型VGA画面には、低消費電力で屋内外でも優れた視認性を持つブランビュー液晶を採用。本体は落下強度1.5メートルを実現するとともに、IP54準拠の防塵・防滴性能を備えている。

問い合わせ先

カシオ計算機

PS推進室

TEL : 03-5334-4637 (直通)

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/24294>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.